



## 東京五輪マラソン・競歩の成功へ全力

国際オリンピック委員会(IOC)が2020年東京五輪のマラソンと競歩を、札幌開催とする方針を決定したことを受け、11月7日、大会組織委員会の森喜朗会長と道庁で会談しました。森会長からは「経費は北海道に迷惑をかけないようにしたい」とのお話をいただきました。11月11日には、全国知事会で小池百合子東京都知事から、大会の成功に向けて「一緒にがんばりましょう」と言葉をかけていただき、翌12日には、秋元克広札幌市長とともに二階俊博自民党幹事長、橋本聖子五輪担当大臣と面談し、開催成功に向けた決意をお伝えしました。

札幌市、道警察や競技団体などの緊密な連携のもと、すばらしい大会になったと言ってもらえるように、オール北海道で取り組んでいきます。

## シンガポールで道産品トップセールス

道産品のアンテナショップ「北海道どさんこプラザ」シンガポール2号店のオープンを記念した「北海道フェア」が7月26日、現地のショッピングモールで開催され、道産品のトップセールスを行いました。また、シンガポール航空を訪問し、本道への季節定期便の運航期間の拡大、通年定期便化を要請しました。

来年に予定される道内7空港の民営化や、新千歳空港の国際線ターミナル拡張を機に、北海道を訪れる皆さまの受け入れ体制の強化を図っていきます。



## G20観光大臣会合で本道の魅力をPR

10月25、26日に俱知安町で開かれた「G20観光大臣会合」に出席し、本道の豊かな自然や食、アイヌ文化や広大なフィールドでの体験観光について、プレゼンテーションを行いました。25日の歓迎セレブションでは、道産食材を使った料理やアイヌ舞踊、YOSAKOIソーランで各国の皆さまをおもてなししたほか、村田道議会議長とともに、北海道ラーメンをPRしました。



## 若さと情熱で 北海道新時代の創造を!

活力あふれる北海道の未来を実現する会 会長 似鳥 昭雄

皆さまにおかれましては、日頃から「活力あふれる北海道の未来を実現する会」の活動にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本年4月の北海道知事選挙におきましては、皆さまの温かいご支持で北海道に38歳の若きリーダーが誕生いたしました。知事就任から8カ月、持ち前の情熱と柔軟な発想、積極的な行動力で、山積する課題に果敢に取り組んでおります。

これからも地域の皆さまとのネットワークづくりを積極的に進め、より充実した後援会活動を開催してまいりたいと考えております。今後とも温かいご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# なおみち 新たな時代に鈴木直道道政が始動!



**新しい発想で、地域の皆さんとともに、活力にあふれる北海道の実現に向けて全力で取り組んでいきます。**



### ごあいさつ

こんにちは。鈴木直道です。早いもので、私が知事に就任して8カ月が過ぎました。この間、私は、さまざまな課題に対して、常に道民目線で、北海道の未来にとって何が重要なのかという視点から、政治家鈴木直道として判断してきました。

北海道は全国を上回るスピードで人口減少、少子高齢化が進むなど、日本における課題の先進地です。この大きな「ピンチ」を、皆さんとともに北海道の底力を發揮し、新たな一步を踏み出す大きなチャンスに変えていかなければなりません。

私には、皆さんと実現していきたい北海道の未来があります。2020年にはアイヌ文化の発信拠点となる民族共生象徴空間「ウポポイ」がオープンし、東京オリンピックの

サッカー・マラソン・競歩が本道にて開催されます。さらには、道内7空港の一括民営化がスタートし、飛躍的に来道者が増加します。2021年にはアジア初となるアドベンチャートラベルワールドサミットの開催と、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産への登録を実現します。2023年には北海道日本ハムファイターズの拠点となる北海道ボールパークがオープン。2025年には大阪万博を好機として、本道への観光客をさらに増加させます。そして、2030年には札幌から北海道新幹線が発着する中、札幌冬季オリンピック・パラリンピックの招致を実現する。

私は、こうした北海道の未来を切り拓く起爆剤となる「チャンス」を活かし、北海道を支援いただける皆さん、そして私を支援いただける皆さんと力を結集し、北海道の発展のために全力で取り組んでまいります。今後とも、皆さまのご理解、お力添えをよろしくお願いいたします。

北海道知事 鈴木直道

### 鈴木直道プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選。

活力あふれる北海道の未来を実現する会・会報  
鈴木直道レポート創刊号 2019年12月発行

発行所／〒060-0032 札幌市中央区北2条東1丁目2番10 北2条ビル4F  
TEL 011-209-7070 FAX 011-209-7080



## 初の道議会で堂々と所信表明

知事就任後初めてとなる北海道議会の臨時議会が5月16日、開会し、「活力あふれる北海道の実現のため、これまでの経験と持てる力のすべてを注ぎ、道民が安心して暮らし続けていけるよう取り組んでいきたい」と所信表明を行いました。

道政運営に当たっては、「ピンチをチャンスに変える道政」「新たな発想で攻める道政」「地域とともに考え、行動する道政」の3つを基本方針として、前例にとらわれない新たな発想と行動によって、直面する道政課題に全力で取り組む考えを示しました。

また、3副知事を全員交代させる思い切った人事案や、全国最低水準の報酬で全国一働くとの思いで知事の給料と期末手当(ボーナス)、退職金を3割減額(削減効果4年間で約3700万円)する条例案を提出し、議会の承認を得ました。



## ロシアでの日ロ知事会議に出席

全国知事会の先輩知事たちとともに、5月13日にロシア・モスクワで開催された日ロ知事会議に出席し、両国の知事同士で幅広く意見交換する中で、経済・文化・医療など、多分野での交流拡大を図っていくとの方向性を確認しました。元島民の6割を超える方がすでに亡くなられ、ご存命の方の平均年齢も84歳を超えていた中で、北方領土問題の解決は、一刻の猶予も許されません。

これまでのサハリンをはじめとする極東地域との交流事業に加え、政治・経済の中心であるモスクワなどの欧露部との関係を強化するなど、両国の安定的な友好関係の構築に取り組み、道として国の外交交渉を後押ししていきます。

## 地域連携強化めざす「スクラムトーク」「なみちカเฟ」で各地を訪問

市町村長の皆さんや地域の活性化に取り組んでいる方々と意見交換し、道政に生かしていく「スクラムトーク」、さまざまな分野で活躍されている方の仕事場に伺って、その取り組みや思いなどをお聞かせいただく「なみちカเฟ」を7月にスタートさせ、道内各地を訪問しています。

スクラムトークでは、11月末までに14市町村の皆さんからお話を聞くことができました。なみちカเฟでは、8月に旭川市の家具メーカー「カンディハウス」の視察を皮切りに各地を訪問しました。今後もできる限り地域に出向いて、「地域とともに考え、行動する道政」を進めています。



旭川市・カンディハウス見学



奥尻高校で津波サミット受け入れについて意見交換

## 縄文遺跡・世界遺産登録へ本格始動

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向け、6月6日、函館市縄文文化交流センターや垣ノ島遺跡、大船遺跡を視察し、遺跡の保存や活用に取り組んでこられた皆さんと、交流を深めました。6月10日には、早期登録を実現すべく、参議院議員会館で開かれた総決起大会に参加しました。

こうした活動が実り、7月30日、国の文化審議会が同縄文遺跡群をユネスコへの推薦候補とすることを決定し、2021年の登録を目指すこととなりました。一日も早く、世界遺産登録が実現するよう取り組んでいきます。



## 「世界津波の日2019」 高校生サミットに出席

「世界津波の日」2019高校生サミットin北海道が9月10、11日、札幌の「北海きたえーる」で開かれ、世界44カ国から集まった高校生約400人が、生命の大切さや今後の備えなどの教訓について学び

ました。このサミットは2015年12月に国連で「世界津波の日」が制定されたことを機に創設され、今年で4回目。高校生たちが12の分科会に分かれ、英語で議論を行い、災害から命を守るために行動する決意を盛り込んだ「イランカラブテ宣言」を採択しました。



## 胆振地震被害からの復興を推進

5月18日、吉川貴盛農林水産大臣らとともに、北海道胆振東部地震の被災地を訪れ、9月23日には、厚真町、安平町、むかわ町の各町長から、それぞれの町の復旧・復興の進捗状況についてお聞きしました。

今もなお、仮設住宅で生活を余儀なくされている方が数多くおられるなど、復興は道半ばです。引き続き、国や関係機関、団体等と一緒に連携を図りながら、全力で復興に取り組んでいきます。



## ほっかいどう応援セミナーを開催

9月26日、「ほっかいどう応援団会議」のキックオフイベントとして、企業などを対象としたセミナーを東京で開催しました。応援団会議にはすでに300を超える企業や団体の皆さんにご参加いただいています。さらに、「モネ・テクノロジーズ」との自動走行技術に関する連携協定の締結や、「あいおいニッセイ同和損害保険」との高齢者支援などに関する包括連携協定の締結など、具体的な取り組みを始動させています。



## 海外政府要人との交流を促進

9月15日、「ベトナムフェスティバルin札幌」の開催に合わせて来道された、チュオン・タン・サン元ベトナム社会主義共和国国家主席をはじめとする政府要人の皆さまの表敬を受けました。10月25日には、来道した中国国家副主席、王岐山閣下を新千歳空港でお迎えし、札幌市内で懇談しました。「人と人のつながり」を大切にしながら、各国の皆さまとの交流を一層深めてまいります。



チュオン・タン・サン 元ベトナム国家主席



王岐山・中国国家副主席